

雨水浸透施設設置個数の算定について

1 雨水浸透施設の数量を算出するための設計条件は、次の表の数値によります。

項目	条件値	
計画降雨量 (K)	38mm/hr (7年確率)	
流出係数 (C)	建築物の屋根及び工作物、不透水性のアスファルト舗装及びコンクリート舗装の駐車場その他広場等	0.85
単位浸透能力 (R) (右は市で標準的な製品として定めているものの値です。個数算出にあたっては、実際に設置する製品の値で計算してください。右以外の製品を設置する場合は、カタログ等の写しを添付してください。)	雨水浸透柵 (500×500)	3.379m ³ /hr/個
	雨水浸透トレンチ (φ200)	4.302m ³ /hr/m
	雨水浸透側溝 (U300)	6.477m ³ /hr/m

2 雨水浸透施設の設置個数は、次の計算方法により算出します。

$$Q = \frac{A \times K \times C}{1,000}$$

$$N = \frac{Q}{R}$$

A = 敷地内不透水性材料被覆面積 (m²)

【屋根面積、舗装面積等の合計。透水性AS舗装面積は含まなくてよい。】

K = 計画降雨量 (天童市は38mm/hr)

C = 流出係数 (0.85)

N = 雨水浸透施設設置数量 (個/敷地)

Q = 敷地内雨水流出量 (m³/hr)

R = 単位浸透能力 (m³/hr)